

知っておくと安心！

小学校入学準備ガイド

「うちの子は小学校で

ちゃんとやっていると嬉しいの？」

「学習に関してはどれくらい

やっておけば安心？」

入学を約半年後に控えた

この時期、そんな悩みを

抱えているおうちの方も

多いのではないのでしょうか？

でも、小学校入学のために

どんな準備が必要なのかを

具体的に知り、今から準備を

進めていけば心配いりません。

親子そろってニコニコ笑顔で

入学の日を迎えられるように、

できることから少しずつ

取り組んでいきましょう。

小学校入学までに 準備しておきたいこと

Learning 学習の準備

一般的には「ひらがなで自分の名前が読める」ことが入学前の目標とされていますが、文字・数の学習を進めておきたいと考えるご家庭も多いようです。お子さまが「学ぶのは楽しい！」と思えるサポートを心がけて。

⇒ P14

School Things 学用品の準備

ランドセルや学習机から鉛筆・消しゴムに至るまで、入学にあたって必要となるものはたくさんあります。それぞれのご家庭の状況に合わせた“買いどき”を見極め、用意できるものは今のうちから揃えていきましょう。

⇒ P15

Life Style 生活習慣の準備

小学生になると、持ち物の管理をはじめ、自分のことは自分でやらなければならない場面が増えます。先生の話をしっかり「聞く」姿勢を身につけるとともに、早寝早起きの生活リズムも整えていきましょう。

⇒ P12

After School 放課後の過ごし方

習い事や学童クラブに通ったり、子ども同士で遊ぶ約束をしてきたり、小学生になると行動範囲が広がります。事故や犯罪から身を守る術を教えたいと、できることは少しずつ本人に任せ、自立心を養うことが大切です。

⇒ P16

生活習慣



生活リズムを整えよう

正しい生活リズムは、一朝夕に身につくものではありません。「早寝・早起き・朝ごはん」の3つをポイントにして、入学前から時間をかけてリズムを整えていく必要があります。まずは早起きができるようになりますと、一日のリズムが整いやすくなります。小学校が始まる時間に合わせて起きる習慣を身につけましょう。朝、早く起きられる

よくなると、夜も自然と早寝ができるようになります。朝ごはんは一日をスタートさせるエネルギー源であり、心の状態にも影響します。朝ごはんをしっかり食べてから登校できるように、起床から家を出るまでにどれくらいかの時間が必要かをイメージして、ゆとりをもったタイムスケジュールを組んでおくようにしましょう。



お話をお聞きしたのは

ドラキッズ講師
山岡直美先生



幼児教室「ドラキッズ」京王百貨店上大岡教室講師。現場感を大切にしながら、講師育成のための研修や、教材の制作なども担当している。



おうちの方への 応援メッセージ

入学に向けて夢や希望にあふれる一方で、不安もいっぱい。それはおうちの方だけではなく、お子さまも一緒です。だからこそ、「〇〇ができないと学校へ行ったら困るよ」といった言葉がけは禁物。「学校ではどんな楽しいことがあるかな」「新しいお友だちもできるね」と、入学が待ち遠しくなるような声かけをしてください。

先輩ママ 体験談

「早起きをしたら好きなテレビを見てもいい」というルールをつくり、「明日テレビを見たいなら早く寝ようね」と声をかけています。ごほうびがあると、やる気が出るようです。



沼尾夕美子さん
小学1年生男子



小澤かえでさん
中学1年女子

小学校に入学したてのころは、学校生活や学童クラブなどで疲れてしまっていたのか、夕食を食べながらコックリコックリと居眠りしてしまったことも(笑)。それでも徐々に体力がついて、生活リズムも整いました。夕食の居眠りも今では笑い話になっています。



自分で身の回りのことが できるように練習して

小学校では、教科書などの準備はすべて自分でしなければなりません。今のうちから、園のバッグの準備はお子さま自身に取り組みせるようにしていきましょう。特に、これまで子どもの荷物をおうちの方が持っていた場合は、「自分のものは自分で持とうね」と声をかけ、自分のものは自分で管理するように習慣づけることが大切です。とはいっても、最初からできる子はいないと思います。おうちの方と一緒に準備タイムを設けて、徐々に慣らしていきましょう。

また、小学校は和式トイレが多いので、駅やデパートなどで和式トイレの使い方などを教えておくとうれしいです。

聞く力、伝える力を 育む体験を

入学後に最も必要になるのは、人の話を聞く力と、自分の気持ちを伝える力です。まずは、お子さまの話をおうちの方がしっかり聞いてあげましょう。うまく伝わらなかったときに、どういう言い方をすればよいかを考え

ることも、お子さまには大切な経験です。おうちの方は「それはこういうことですよ」と口を挟まず、お子さまが話し終わるのを待ちましょう。聞く力を育てるには、日頃の会話のほかに絵本の読み聞かせも役立ちます。



先輩ママ 体験談

上のお姉ちゃんは最初から自分でできていたので、弟の入学時にのんびり構えていたらお姉ちゃんの時とは大違い！忘れ物が多いし、連絡ノートやプリントを学校に忘れたり、朝起きてこなかったり……3年生くらいまではつきっきりだったかも。ママ友から「男の子はそんなものだよ」という声をよく聞きました。



土屋順子さん
小学4年男子

先輩ママに聞きました！

小学1年生が 家庭でしているお手伝い

お手伝いは、身の回りのことを自分でする姿勢を育み、「人の役に立てた！」と自信をもつきっかけにもなります。

- 食卓の準備と後片づけ
- お風呂洗い
- 新聞を取りに行く
- 料理の手伝い
- 雨戸の開け閉め
- 洗濯物を干す、たたむ、片づける

学習



教えようと思わずに
楽しく&ほめるがカギ！

入学前の学習では、教え込むのではなく、お子さまが楽しめるように働きかけることが大切です。小学校の学習に十分な備えをしておきたいというご家庭では、ひらがな50音の読みや10まで

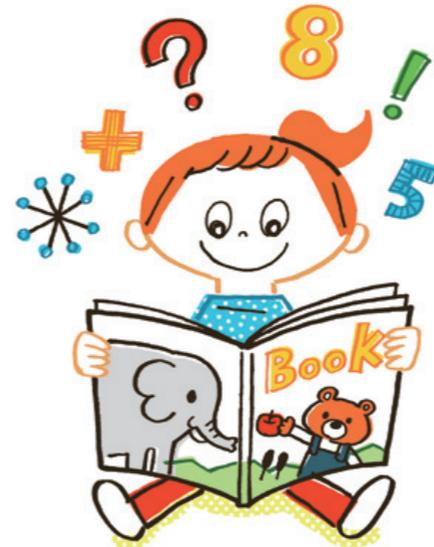
のたし算・ひき算などに取り組んでみるとよいでしょう。できなかったところに目を向けるのではなく、どんな些細なことでもお子さまができていることを見つけ、ほめるような心がけてください。

学習の環境を整えよう

この時期の学習は、リビングの机など、おうちの方の目の届くところで取り組むことがおすすめです。必要に応じてヒントを出し、自信が持てるように大きな花まるをつけてあげましょう。国語辞典や日本地図、図鑑なども用意して、テレビに出てきた言葉や地名などをおうちの方が調べる姿を見せると、お子さまは「学習」のイメージを持てるようになります。また学校や先生によって、宿題の量、内容もさまざまです。学習習慣を身につけさせるために通信教育や、学習系の習い事を始めるご家庭もあるようです。

お話をお聞きしたのは
ドラゼミ添削主任
石山絵麻先生

幼児向け通信教育「ぶちドラゼミ」および、小学生向け通信添削「ドラゼミ」添削講師の指導を担当。



親子で楽しく挑戦！ /

〈文字〉

好きな絵本を繰り返し読むと、「この文字はこう読む」という理解が深まります。

〈数〉

飴玉を5個ずつ分ける、列で「○番目」を確認するなど、生活の中で数を意識してみましょう。

〈学習習慣〉

アナログ時計を用意し、「何時までに何をしようね」と時間の感覚を養いましょう。

先輩ママ体験談

私が仕事をしているので、入学後は毎回宿題などを見てあげることにはできず、その状態が今でも続いています(笑)。でも気づくと自分でしっかりやっているので、成長を感じます。



橋本とし江さん
中学3年生男子

文字に興味をもったきっかけは、パパや祖父母に手紙を書かされたことや、好きなアニメの歌詞を書きたがったことから。宿題に関しては、「やったら遊ぶ」より「遊んでからやりたい」という本人の意思を尊重しています。



木元智恵さん
小学3年生男子

おうちの方への
応援メッセージ

お子さまが興味をもつこと・興味をもつ時期は、一人ひとり違います。今はまだ文字や数に興味がなくとも、おうちの方は「時間が解決してくれるから大丈夫」と大らかに構えましょう。「この線は力強く書けたね」と、できたことを親子で一緒に喜び合うことで、この時期の学習を「学ぶ楽しさ」を味わえる体験にしてくださいね。

学用品



ランドセルは早めに
リサーチするのがおすすめ

ランドセルの色や柄は多様化していて、人気があるものは早々に売り切れてしまうこともあるため、年長の9月までには半数以上のご家庭が購入しているといわれています。お子さまが好きなもの・使いやすいものを選ぶことが重要ですが、上級生になっても愛着がもてる色・柄を選ぶようにアドバイス。入学のお祝いにランドセルをプレゼントし

たいと考えている祖父母も多いため、購入時期も含めてどうするかを早めに検討しておきましょう。

先輩ママ体験談

学習机について、夫は「椅子に座って床に足がつくようになるまで不要」、私は「整理整頓の習慣をつけさせるために必要」と考えていました。結果的に、座ったときに足が床につく椅子と、高さを何段階かに変えられる机を購入。娘も使いやすそうでしたよ。



平山直子さん
中学2年生女子

学習机は 家庭環境に合わせて

学習机は、入学前の1月〜3月に購入するご家庭が多いようですが、「子ども部屋を与えてから」「子どもがひとり学習できるように」など、各家庭の環境・方針に合わせての購入でよいでしょう。

ものを指定されることもありますが、お気に入りの文具を使うことで学習へのモチベーションが上がることもあるので、学校では無地、家庭学習では好きなキャラクターの文具というように使い分けてもいいですね。



先輩ママ体験談

学校で持ち物についての説明会が行われたのは、2月ごろでした。短期間で準備をせねばならず慌ただしかったです。すべてのものに名前を書かないといけないので、お名前シールがあると重宝しますよ。



越智加奈子さん
小学1年生男子



先輩ママからの応援メッセージ /

できないことが多くて当たり前!と大らかに構えよう!

大変だからこそ幸せ。それは子どもが大きくなって変わらないこと。

遠くの親戚より、ご近所さん!

とにかく悩みはひとりで抱え込まないで。

自分たちの子ども時代と違って当たり前。でも変わらないこともたくさんありますよ。

PTAの役員などは早めにやっておくと、頼れる仲間も早くできますよ。

子どもとたくさんコミュニケーションをとりましょう。

なるべく行事に参加すると、世界が広がりますよ。

過ぎてしまえば6年間はあっという間。



放課後



学校生活をイメージして 秋ごろから準備しよう

おうちの方の送り迎えが必要な園生活とは異なり、小学生になると登下校のときにひとりになることもあります。通学路の風景は朝と夕方では見え方が違うので、いろいろな時間帯にお子さまと一緒に歩き、道を確認しておきましょう。また、人通りの少ない所や暗い所は通らない、何かあったら駆け込むところ（子ども110番など）、連絡先、防犯ブザーの使い方なども話し合っておくと安心です。行事や説明会などで小学校が公開されるときは足を運び、低学年の教室やトイレの様子などをチェックしておくと入学後の生活をイメージしやすくなります。



先輩ママ 体験談



石井さくらさん
小学4年生女子

学童には行かず友だちの家や公園で遊んでいたりと、学童の後に友だちの家に行っていたりしたこともありましたが。今は家に置き菓子を用意して友だちの家に行くときは持たせ、お礼のメールをするようにしています。ご近所にも共働きのので何かあったときのことをお願いして回り、いろいろな面で助けていただいています。

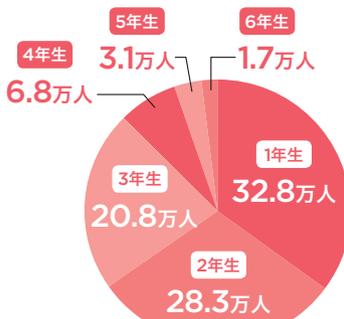


渡辺恭子さん
小学5年生女子

放課後に娘がずっと家にいることが続くと、「学校で何かあったのかな?」「お友だちがいないのかな?」と心配したこともありましたが。けれど入学したばかりのころは学校に行くだけで疲れていたらしく、よその子もそうだったと聞いて安心しました。相談できるママ友や先輩ママがいると何かと心強いです。

学童の利用状況

1~3年生が全体の約87%を占める。
4年生以降は学童を利用せず、留守番をしたり、塾などに通ったりすることが増える。



出典:「平成26年 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」(厚生労働省)

小学生の親として子どもの自立の助けになるサポートを

放課後の過ごし方を考えるにあたっては、「お子さまがひとりでできること」「大人のサポートが必要なこと」を、その都度、見極めていきましょう。学童クラブや習い事での様子を聞いてみる

と、家庭とは違ったお子さまのしつかりした一面が見えてくることも。おうちの方にとって便利かどうかだけではなく、お子さまの自立につながるかを考えてサポートしていくことが大切です。

おうちの方への 応援メッセージ

小学校に入ると、学童クラブや習い事など放課後の過ごし方も多彩になり、お子さまはいろいろな人と関わりながら生活していくこととなります。ですが、お子さまにとって最大のごほうびは、おうちの方に自分を認めてもらうこと。家に帰ってきたら、お子さまがその日楽しかったことについて話す時間をつくってあげてくださいね。



お話をお聞きしたのは
放課GO→あおやま施設長
大谷 嘉先生

東京都港区の「放課GO→クラブあおやま」施設長。同クラブは放課後などの子どもたちの居場所として学童クラブの機能もあわせ持ち、6年生まで利用可能。